



女性の輝ける未来に 企業の後押しが必須

近年、女性の社会進出が加速し、結婚、出産後も仕事を続ける人が増えている。そのため、何に重きを置くかが課題となっている。人生をどう輝かせるか——。「クオリティー・オブ・ライフ」を率先して実践する化粧品企業の一つに、ランクアップが挙がる。

同社の育児・介護休業制度の特徴は、①8時30分～14時30分(昼休憩なし)の特別時短導入②1日の勤務時間7.5時間(17時退



ランクアップの社員の約半数がママ(上)、就業時間内にヨガ教室を開催する

社可能)③子どもの看護のための病時シッターを法人契約④就業時間内にヨガ教室を開催(妊婦は妊婦ストレッチ)などだ。他の企業ではまねのできないこれらの導入は、同社の岩崎裕美子・代表が広告代理店での経験から、「長時間労働さえなくせば、優秀な人材の流出が防げ、好きな仕事を続けながら、出産・育児もできると確信した」ことから。導入により、現在、同社の社員の約半分は子どもを持ち、育児休業取得率は100%で、同じ部署、ポジションで活躍中だという。また、過去3年間離職率ゼロを誇る。

日本全体の課題である、少子化や介護問題に、女性の手は必要不可欠。その女性の「クオリティー・オブ・ライフ」を実現できる社会になることこそ、次世代のテーマだ。